

安全・安心科学技術分野の課題に係る論点整理(案)

論点1：科学技術の成果を現場につなげる新たな研究開発のあり方

【全般】

○技術の出口側から見て求められる科学技術という観点からの取組が必要。

【研究開発フェーズ】

○出口側の社会ニーズを踏まえた技術開発ニーズの絞り込みが必要。

○生活者レベルのニーズ、国レベルのニーズそれぞれの汲み上げと技術シーズとのマッチング方法のあり方。（求められる技術と成果のずれ解消、密接な連携の方策）

【成果実装フェーズ】

○研究開発成果の実用化を阻害する規制等の緩和・見直しに向けた協力。

○技術の普及を促進する政策的、制度的な取組へのサポートを強化。

（例：成果を有効に生かすための社会技術的な研究、国際協力の実施、技術の認証・基準等の取組、実フィールドでの社会実証試験の実施等への支援強化）

○初期需要の創出に向けた取組。

（例：公的機関の調達との連携促進）

論点2：国際的な協力活動の強化と技術情報取り扱い

【国際的な協力活動の強化】

○テロ対策技術等の効果的な研究開発のためには、機微情報を含む研究協力の国レベルの制度的な枠組みが必要。

○我が国の安全・安心科学技術の途上国等への積極的な活用促進

【技術情報の取扱いの明確化】

○安全保障貿易管理への対応（機微（技術）情報の取扱）

○悪用可能な科学技術の取扱いに係る課題（ガイドライン、研究者への啓発等）

論点3：安全・安心科学技術に係る人材育成・普及啓発に関する取組

○大学等での安全・安心分野の取組活性化を通じた人材育成の促進

○一般市民向けの普及啓発（シンポジウムやリスクコミュニケーションの促進）

○安全・安心科学技術における研究者・運用者の交流、啓発、研修等